

■ 理由 1：ガクチカや自己 PR に使える（7 名）

Aさん（22歳 男性）

面接で話せるエピソードが圧倒的に増えました。アルバイトよりも深掘りされやすく、「なぜその行動をしたのか」を具体的に説明できたのが大きかったです。

Bさん（21歳 女性）

ESで文字数を埋めることに困らなくなりました。成果だけでなく、失敗や改善の話まで書けたのはインターン経験があったからだと思います。

Cさん（20歳 男性）

ガクチカとして話した内容を、面接官がかなり興味を持って聞いてくれました。「学生でここまでやっているのは珍しい」と言われ自信につながりました。

Dさん（20歳 女性）

自己 PR で「主体性」を具体例付きで話せるようになりました。抽象的な表現にならず、説得力が増したと感じています。

Eさん（22歳 男性）

他の学生と差別化しやすかったです。アルバイト経験よりも、インターンの方が評価されている感覚がありました。

Fさん（21歳 女性）

エントリーシートの通過率が明らかに上がりました。インターンの話を書くと、面接に進みやすかったです。

Gさん（21歳 男性）

「なぜその会社を志望するのか」を、自分の経験と絡めて話せるようになったのが大きな強みでした。

■ 理由 2：実践的なスキルやビジネスコミュニケーション能力が身につく（7 名）

Hさん（22歳 女性）

社会人とのやり取りに慣れたことで、面接でも緊張しなくなりました。言葉遣いや受け答えが自然になったと思います。

Iさん（21歳 男性）

報連相や資料作成など、実務で使うスキルが身につきました。入社後のイメージが具体的に持てたのが良かったです。

Jさん（21歳 女性）

ビジネスメールや MTG での発言など、就活前に経験できたのは大きかったです。面接でも「即戦力感」を評価されました。

Kさん（20歳 男性）

営業同行や顧客対応を通じて、話し方や考え方を鍛えられました。就活での受け答えにも活きてています。

Lさん（22歳 女性）

課題に対して自分なりの仮説を立てる癖がつきました。面接での思考力質問にも落ち着いて対応できました。

Mさん（21歳 男性）

実務ベースでPDCAを回した経験が、コンサル志望の面接でかなり評価されました。

Nさん（19歳 女性）

ビジネスの現場を知ったことで、学生っぽい発言をしなくなったと思います。

■ 理由3：志望業界・職種が明確になる（6名）

Oさん（22歳 男性）

実際に働いてみて、「この仕事は向いている」「これは違う」と判断できました。就活の軸が明確になりました。

Pさん（21歳 女性）

参加前は業界理解が浅かったのですが、インターンを通じて志望業界を絞ることができました。

Qさん（18歳 男性）

なんとなく志望していた職種が、自分に合わないと気づけたのは大きな収穫でした。

Rさん（20歳 女性）

業務内容をリアルに知れたことで、企業選びに迷わなくなりました。

Sさん（22歳 男性）

「この業界で働きたい理由」を自分の言葉で説明できるようになりました。

Tさん（21歳 女性）

インターン経験がなければ、軸のない就活になっていたと思います。

■ 理由4：意識の高い同期や先輩との交流でモチベーションが上がる（5名）

Uさん（22歳 女性）

周囲のインターン生が優秀で、刺激を受けました。「自分ももっと頑張らないと」と思えたのが大きいです。

Vさん（21歳 男性）

先輩社員や内定者の話を聞く機会が多く、就活のイメージが具体的になりました。

Wさん（20歳 女性）

同じ目標を持つ仲間と切磋琢磨できたことで、就活への本気度が上がりました。

Xさん（20歳 男性）

周囲のレベルが高く、自分の立ち位置を客観的に見られるようになりました。

Yさん（22歳 女性）

就活情報を共有できる仲間ができたのは大きなメリットでした。

■ 理由5：難関企業の内定実績にもつながる（3名）

Zさん（22歳 男性）

インターン経由で早期選考に進め、そのまま内定につながりました。

AAさん（22歳 女性）

インターン先の社員から推薦をもらい、選考がスムーズに進みました。

ABさん（21歳 男性）

難関企業の面接で「実務経験」を評価され、内定を獲得できました。

■ その他（2名）

ACさん（20歳 女性）

就活だけでなく、自分に自信が持てるようになった点が一番大きかったです。

ADさん（19歳 男性）

社会に出る前の不安が減り、就活そのものを前向きに捉えられるようになりました。